

I. 令和2年度事業報告

当事業団は多様な起業活動とその事業継続、IT利活用による経営革新、地域経済の発展を担う人材の確保、高付加価値を生み出す商品づくり、域内外への販路拡大の支援など、東北における中核的な支援機関を目指して、総合的な中小企業支援に取り組んできた。

今年度は、当初令和2年3月に策定した「中期経営方針」に基づき、中小企業の成長意欲を支援する取り組みや事業の拡大を後押しする取り組みを柱とした事業実施を予定していた。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域の中小企業の経済活動が大きく影響を受けたことから、年度の前半は予算の大幅な組替えを行い、企業の存続を最優先にした支援をおこなった。

特に6月29日「中小企業応援窓口」を設置し、当事業団のビジョンの一つである「企業に寄り添い、貢献し、信頼される支援機関」としての役割は一定程度果たせたものと認識している。

また、年度の後半は、新型コロナウイルス感染防止と経済の両立を図るため、中小企業へのデジタル化推進やオンラインによる販路開拓支援など新たな支援方法を積極的に取り入れたところである。

具体的には次のとおりに各種支援を実施した。

- ▶ 「仙台市起業支援センター“アシスタ”」では、起業相談の他、起業の準備段階等に応じて必要なノウハウを学ぶ起業家セミナーや創業支援ネットワークを活用した合同相談会を行った結果、令和3年3月末時点で105件の開業に繋がった。また、開業後の起業家の実態調査を実施し、起業後3年経過したアシスタ利用者の83.6%が事業存続している事を把握するとともに、経営課題を抱えている開業者には窓口相談の利用を促す等、開業後のフォローアップを行った。
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大により、急増した中小企業の経営相談に対応するため、中小企業応援窓口を令和2年6月29日から設置。資金調達や業態転換、非対面化等多様な相談に対応した。対面、電話、メール相談のほか、新型コロナウイルスの感染予防等の理由から来訪が難しい方には、ビデオ会議システムによるオンライン方式での相談も実施
- ▶ 地域企業が新型コロナの影響を乗り越えて事業存続・成長していけるよう、withコロナ時代のマーケティング戦略や財務等について学ぶオンラインセミナーを開催した。
- ▶ 外出自粛ムードが高まるコロナ禍でも売れる新商品開発を促進するため、複数の専門家が継続的・集中的に助言を行う「商品づくりチーム支援」を実施した。
- ▶ 「新東北みやげコンテスト」をオンラインで開催し、品評会や商談機会提供を通じて販路開拓を支援した。入賞商品の国内外流通バイヤーとのマッチング等、新たな地域製品のPRと販路開拓に向けたフォローアップを行った。
- ▶ 仙台地域のものづくり企業へ、御用聞き型企业訪問事業により製品開発等支援を行った。製造現場の訪問が困難なため、WEB会議システムの活用等により課題の把握・助言等を行った。
- ▶ 東北及び首都圏等の産業支援機関等との連携による域外への販路拡大、取引促進に向けた取り組みを進めるとともに、地域資源等を活用して新事業展開を行おうとする意欲的な企業等に対して、イノベーションの推進に向けた取り組みや域外等への販路開拓を重点的に行った。
- ▶ 6月29日に設置された「仙台テレワークサポートデスク」において、テレワーク導入や業務のデジタル化を進める企業に対し、セミナーやイベントの開催、相談対応、補助金交付等を行ったほか、IT企業向けに、技術者を対象とした研修の開催を通じて、上級システムエンジニアとしてソフトウェア開発プロジェクトをけん引する技術者の育成を行った。

- 地域企業の多様な人材確保・人材獲得力向上を目的として採用コンサルティングやセミナーを実施したほか、高度外国人材の採用をコーディネートするグローバルUIJ事業や働き方改革をテーマにした新規ビジネスを公募・委託する働き方改革促進ビジネス開発委託事業を行った。
- 仙台フィンランド健康福祉センタープロジェクトにおいて、Wellbeing（ウェルビーイング＝「健康福祉」のほか「よく・生きる」）分野における、地元企業及びフィンランド企業の連携促進を図った。具体的には公募型委託事業や研究会、健康福祉ニーズ掘起し事業、オンライン展示会等により支援環境を提供した。また、ビジネスフィンランド及びオウル市とそれぞれ継続している産業支援協力に関する基本合意書（～2025年）のもとで、両地域の企業等に関する情報交換やビジネス連携支援を行った。

(理事会の開催)

(1) 第 50 回理事会 令和 2 年 4 月 1 日 (決議の省略)

- ① 副理事長の選定
遠藤 守也

(2) 第 51 回理事会 令和 2 年 5 月 19 日 (決議の省略)

- ① 平成 31 年度事業報告及び収支決算について
- ② 評議員会の開催について

(3) 第 52 回理事会 令和 2 年 6 月 12 日 (決議の省略)

- ① 理事長等の互選について
理事長 山本 和茂
副理事長 遠藤 守也

(4) 第 53 回理事会 令和 2 年 7 月 30 日

- ① 新型コロナウイルス対策の取り組み及び組織改正について
- ② 新型コロナウイルス感染症対策に伴う令和 2 年度予算の組み替えについて
- ③ 令和 2 年度事業計画の変更について
- ④ 評議員会の開催について

(5) 第 54 回理事会 令和 2 年 8 月 3 日 (決議の省略)

- ① 令和 2 年度収支予算の補正及び事業計画の変更について

(6) 第 55 回理事会 令和 2 年 10 月 9 日 (決議の省略)

- ① 令和 2 年度収支予算の補正及び事業計画の変更について

(7) 第 56 回理事会 令和 2 年 10 月 30 日 (決議の省略)

- ① 令和 2 年度収支予算の補正及び事業計画の変更について

(9) 第 57 回理事会 令和 3 年 2 月 19 日

- ① 令和 3 年度事業計画及び収支予算について
- ② 組織変更について
- ③ 評議員会の開催について

(10) 第 58 回理事会 令和 3 年 3 月 23 日 (決議の省略)

- ① 評議員会の開催について

(評議員会の開催)

(1) 第30回評議員会 令和2年6月1日(決議の省略)

- ① 平成31年度事業報告及び収支決算について
- ② 役員および評議員の選任について
役員及び評議員の任期満了に伴い、選任

(2) 第31回評議員会 令和2年8月18日

- ① 評議員の選任
佐藤 勘三郎
藤原 直
- ② 新型コロナウイルス対策の取り組みについて
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う令和2年度収支予算の補正について
- ④ 令和2年度事業計画の変更について

(3) 第32回評議員会 令和3年3月25日

- ① 令和3年度事業計画及び収支予算について
- ② 組織変更について
- ③ 仙台市産業振興事業団における新型コロナウイルス対策の取り組みについて
- ④ その他の事業実施状況について

(4) 第33回評議員会 令和3年3月29日(決議の省略)

- ① 理事の選任
遠藤 和夫
- ② 評議員の選任
村上 薫

1. 公益目的事業

(1) 中小企業支援事業

(186,693,722 円)

① 経営相談事業

ア) 窓口相談

経営及び起業に関する課題を、相談内容の分野・段階に応じてトータルでサポートする総合相談を実施した。具体的には、経営・税務・届出手続き等の知識を持つビジネス開発ディレクターが相談に対応した。相談総件数は前年度比 230% と大幅に増加した。令和 2 年度は新型コロナによる影響から特に資金に関する相談が増え、前年度比 564% となった。

<相談実績>

相談企業数 (前年度実績)	相談等 延件数	内 訳					
		経営全般	マーケ ティング	ビジネス プラン	資金	IT	その他
2,982	4,353	653	363	383	2,060	54	835
(1,307)	(1,889)	(605)	(393)	(175)	(365)	(38)	(313)

イ) 法律相談

毎月 1 回、原則第 3 木曜日に法律相談を実施した。事業活動に伴う法律問題に関して、弁護士が問題解決に向けてのアドバイスを行った。

<相談実績：9 社 10 件 (前年度実績：3 件) >

ウ) 知財相談

毎月 1 回、原則第 2 金曜日に株式会社東京リーガルマインドと連携して知財相談会を実施した。事業活動に伴う知的財産についての問題に関して、弁理士が問題解決に向けてのアドバイスを行った。

<相談実績：13 社 13 件>

エ) 事業承継相談

毎月 1 回、原則第 4 木曜日に宮城県事業承継ネットワークと連携して事業承継相談会を実施した。事業承継に関して税理士が問題解決に向けてアドバイスをした。

<相談実績：7 社 8 件>

② 商品づくりチーム支援事業

地域中小企業の弱点と言われるマーケティングやデザインの分野を中心として、「売れる商品」づくりを目的に専門家等によるチーム支援を行い、企業の成長をけん引するような商品づくりをサポートした。

<支援実績>

	企業名	支援対象商品
1	株式会社タゼン	仙臺銅壺
2	株式会社ブロスアップ	だし廊 HOME
3	株式会社食むすび	団らん餃子
4	島津麴店	お家で育てる味噌キット
5	合同会社トゥーイート	レモボナーラ

③ 東北地域産品の販路開拓支援事業

地域性に磨きをかけて商品開発を行った東北の新しいみやげを表彰する「新東北みやげコンテスト」をオンラインにて実施し、受賞商品を対象としたオンライン展示会や販売会の開催、広報媒体への露出により、取引機会の提供と商品の知名度向上を行った。

加えて、販路開拓コーディネーターを配置して、新しい生活様式によって生まれたニーズに対応して仙台地域内外のバイヤーとの取引機会の提供を図った。

これらの取組みにより、東北に根ざした地域産品の付加価値向上から販路開拓まで一貫して支援した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた首都圏展示会への出展支援や海外販路開拓における事業可能性調査の機会提供や現地販売会等は中止することとなった。

<第7回新東北みやげコンテスト>

日程：令和2年11月17日（火）～19日（木）

会場：ウェブサイト上のオンライン展示会

品評会出展商品数：54件（応募商品数273件）

商談件数：148件

商談成約金額：104件

受賞企業

受賞	企業名	県名	商品名
最優秀賞	株式会社武田の笹かまぼこ	宮城	Can ささ笹かまアヒージョ
優秀賞 (3社)	株式会社ケサノフウケイ	青森	きみだけあいす
	株式会社 GRA	宮城	ミガキイチゴバター
	八戸酒造株式会社	青森	酒粕バスボム八仙美人の湯
特別賞 (6社)	世嬉の一酒造株式会社	岩手	クラフトコーラこはるこーら
	三陸ブルーイング・カンパニー合同会社	岩手	三陸ビール
	一般社団法人石巻グリーンサポート	宮城	森のキャビア
	大野農園株式会社	福島	PEACH MONAKA
	秋田県醗酵工業株式会社	秋田	秋田杉 GIN
	オイル漬け専門店 Norte Carta	秋田	しいたけタブナード

<第7回新東北みやげコンテスト受賞商品販売会>

開催期間	会場	参加
令和2年12月17日～令和3年2月25日	蔦屋書店多賀城市立図書館	11社
令和2年12月24日～令和3年1月7日	S-PAL 郡山	14社
令和2年12月26日～令和3年1月11日	東北スタンダードマーケット仙台 PARCO2 店	12社
令和3年2月18日～3月4日	のもの東京駅グランスタ丸の内店	8社
令和3年3月22日～26日	JR 仙台駅 2F 中央改札前	19社

<個別マッチング支援>

支援企業数：72社

商談件数：134件

商談成約件数：64件

主な支援実績

	支援先企業	マッチング成約先	成約内容
1	加工食品製造業者 (宮城県)	催事販売業者 (大阪府)	支援先企業の加工食品を、関西圏等の複数の百貨店催事にて販売することとなった。
2	菓子製造業者 (宮城県)	大手百貨店 (東京都)	支援先企業の菓子を、お歳暮等のギフトカタログに掲載して販売することとなった。
3	酒類製造業者 (秋田県)	輸入業者 (台湾)	支援先企業の酒類を、台湾の飲食店にて提供することとなった。
4	雑貨製造業者 (宮城県)	セレクトショップ (東京都)	支援先企業の雑貨を、東京都内の店舗にて常設販売することとなった。

④ デザイン活用支援事業

優れたデザインを活用した高付加価値商品の開発促進のため、デザインの有効性や活用方法の普及啓発を行うデザイン活用セミナーや、地域企業等の抱えるデザイン活用の課題に対し助言等を行うクリエイター活用支援を実施した。また事業団で支援した商品や新東北みやげコンテストの情報をWEBサイト「暮らす仙台」上で紹介した。

<デザイン活用支援実績>

項目	R2
相談件数	160件
相談企業数	63社

<セミナー開催実績>

	講演テーマ	講師	開催日	参加者数
1	飲食店向けオンラインセミナー	・ビジネス開発ディレクター 川島洋子 ・経営支援課 中小企業診断士 玉置 光好	6/3	15名
2	お店のファンづくり実践ポイント	・ビジネス開発ディレクター 大志田 典明・ 笠間建	6/15	21名
3	販促における「伝わる」情報の組み立て方	・ビジネス開発ディレクター 工藤拓也	6/15	36名
4	ゼロからわかる決算書の見方	・ビジネス開発ディレクター 八島 徳子	11/10	35名

<WEBサイト「暮らす仙台・仙台銘品ものがたり」運営状況>

項目	R2	備考
記事掲載数	87件	新東北みやげコンテスト受賞商品 掲載9件含む
ページビュー数	160,517PV	

⑤ IT活用促進事業

ア) IT導入・利活用支援（仙台テレワークサポートデスク業務を含む）

テレワークの導入や経営課題解決に向けたITの活用を促進するため、セミナーの開催や専門家による相談等を行った。

○IT導入・利活用セミナー

	テーマ	講師	開催日	参加者数
1	テレワーク挑戦企業によるミニ座談会@Zoom	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社グッドツリー 代表取締役 西原 翼 氏 ・株式会社クリエイト 南ブロックエリアマネージャー 篠原 留奈 氏 ・株式会社建築工房零 専務取締役 菊池 史朗 氏 ・仙台通信機器株式会社 代表取締役 小岩 克弘 氏 ・公益財団法人仙台市産業振興事業団ビジネス開発ディレクター 高木 順 	8/5	17名
2	ポストコロナのビジネススタイル テレワーク導入に活用できる補助金・助成金（動画配信）	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人仙台市産業振興事業団ビジネス開発ディレクター 鈴木 たすく 	7/13～ 8/7	（総視聴回数） 124回
3	コロナ時代の非対面営業戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人仙台市産業振興事業団ビジネス開発ディレクター 三浦 哲志 ・株式会社 agentlab 代表取締役 浅比 浩史 氏 	1/29	12名
4	リモートワークでも成果を出すためのリーダーの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・セイ・コンサルティング・グループ株式会社 宿澤 直正 氏 	3/4	12名

○専門家による訪問・相談等

対応件数	延べ回数
42件	86回

○テレワーク推進体験型イベント

地域企業を対象としたテレワーク体験機会を提供するイベントを予定していたが、地震の影響により会場の使用ができなくなったことから、急遽、完全オンライン形式へと変更して開催した。

開催日：2/18～19、動画アーカイブ配信 3/14 まで

	テーマ	講師	総視聴回数
1	基調講演	・東京工業大学教授、日本テレワーク学会 特別顧問 比嘉 邦彦 氏	174 回
2	パネルディスカッション	パネラー： ・東京工業大学教授、日本テレワーク学会 特別顧問 比嘉 邦彦 氏 ・株式会社ユーメディア 人材開発チーム課長 西村 聡美 氏 ・サイボウズ株式会社 営業本部リージョナル営業部 東北営業 G 所長 田澤 宏尚 氏 MC： ・本間 秋彦 氏	142 回
3	実践企業による 事例紹介①	・株式会社 WORK SMILE LABO 代表取締役 石井 聖博 氏	79 回
4	実践企業による 事例紹介②	・向洋電機土木株式会社 広報部部長 横澤 昌典 氏	63 回
5	未来展望講演	・富士ゼロックス宮城株式会社 代表取締役 佐藤 敏之 氏	52 回

イ) IT 技術者育成

地域中小 IT 企業が抱える人材育成と技術者不足の課題に対応するため、一般社団法人宮城県情報サービス産業協会（MISA）が主催する「新入社員研修」及び「中堅社員向け研修」を受託実施した。

また、新たに若手技術者を対象とした「ステップアップ研修」を受託実施し、新人～若手～中堅の階層別技術者教育体系を構築、IT 技術者のスキルアップを図った。

○MISA 新入社員研修（主催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会）

	研修コース名	講師	開催日	参加者数
1	ビジネス基盤養成（ビジネスマナー&コミュニケーション）	・キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏	4/2～ 4/6	15 社 53 名
2	ビジネス基盤養成（ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション）	・マネジメントテクノロジーズ, LLC 代表 尾田 友志 氏	4/7～ 4/8	15 社 53 名
3	ビジネス基盤養成（ヒューマンスキル&ビジネス文書作成）	・ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役 庄司 和弘 氏	4/9～ 4/10	15 社 53 名
4	ビジネス基盤養成（情報セキュリティ基礎）	・ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役 庄司 和弘 氏	4/13	15 社 53 名
5	システム開発技術者育成	・株式会社 JC-21 教育センター 教育課課長 山田 洋 氏 ・株式会社ダベンポート 代表取締役 渡邊 義之 氏	4/14～ 6/2	9 社 44 名
6	業務システム開発プロジェクト演習	・株式会社 JC-21 教育センター 教育課課長 山田 洋 氏 ・株式会社ダベンポート 代表取締役 渡邊 義之 氏	6/3～ 6/23	9 社 44 名
7	新入社員フォローアップ研修（ビジネスマナー&コミュニケーション応用、ビジネススキル&社会人基礎力）	・キャリアトーク 代表 志伯 暁子 氏 ・ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役 庄司 和弘 氏	8/26～ 8/27	10 社 45 名

○MISA 中堅社員向け研修（主催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会）

	研修コース名	講師	開催日	参加者数
1	プロジェクトマネジメント研修【初級】	・株式会社アイテック 渡辺 敏之 氏	10/27～ 10/28	10 社 20 名
2	人に教える技術	・セイ・コンサルティング・グループ株式会社 宿澤 直正 氏	11/12～ 11/13	8 社 11 名
3	SE のためのチームマネジメント研修	・株式会社アイテック 加藤 大介 氏	1/27～ 1/28	8 社 14 名

○MISA ステップアップ研修（主催：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会）

	研修コース名	講師	開催日	参加者数
1	フロントエンジニア育成 JavaScript + Node.js	・株式会社システムシェアード 堀井 隆介 氏	1/19～ 1/21	4 社 8 名

ウ) 地域企業デジタル化推進事業

with/after コロナ時代に地域企業が直面する、3 密対応や生産性向上などの経営課題に対応して、テレワークをはじめとした IT ツール活用によるデジタル化の取り組みを強力に進めるため、以下の施策をパッケージで実施した。

- (1) 地域企業デジタルコンサルティング事業
- (2) 地域企業デジタル化試験導入支援事業（補助金）
- (3) 事例集作成事業

コンサルティング 実施件数	補助金申請 受付件数	採択件数	交付件数
175 件	147 件	46 件	42 件

⑥ 起業支援事業

起業予定者が抱える個々の課題について、窓口等で専門家による助言を行った。また、起業家セミナーや起業支援ネットワークを活用した合同相談会（起業・創業なんでも相談 DAY）の開催により、実践的経営ノウハウの習得を支援し、105 件の開業を支援した。（令和 3 年 3 月末現在確認分）

なお、アシ☆スタ交流サロンは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため利用を停止しているが、ZOOM を使ったオンライン相談や YouTube を使ったオンライン起業セミナーを開催し、コロナ環境下に適応した起業支援の拡充に努めている。

<開業支援件数推移>

H27	H28	H29	H30	H31	R2
84 件	113 件	116 件	109 件	121 件	105 件

ア) 創業相談

創業相談件数 1,160 件

※件数は前掲の「窓口相談」の実績に含む

<創業相談件数推移>

H27	H28	H29	H30	H31	R2
1,115 件	1,311 件	1,175 件	1,141 件	1,180 件	1,160 件

イ) 起業家セミナー

起業予定者を対象として、起業に必要な知識・ノウハウ等を準備段階等に応じて解説する起業家セミナーを開催した。

<開催実績：8 コース延べ 21 回開催 延べ 518 名受講>

	開催テーマ	講師	開催日	延べ参加者数
1	事業計画編 ビジネスプラン作成講座 オンライン動画で学ぶ起業の基礎	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 渡辺 進也	7/17 7/22 7/31 8/7 8/14	230 名
2	起業実務編 (税務) 税務手続きと経理の基本 (前期) (オンライン開催)	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 椎木 秀行	8/25	47 名
3	起業実務編 (法務) 開業手続きと契約書の基本 (前期)	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 高橋 克明	9/9	9 名

	開催テーマ	講師	開催日	延べ参加者数
4	女性起業家編 私の夢の叶え方 女性のための起業講座	Office さく 代表 飯田 良子 氏 (中小企業診断士)	10/16 10/23 10/30	45 名
5	事業計画編 ビジネスプラン作成講座 努力を成果に結び付ける 15 の STEP	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 波多野 卓司	11/6 11/13 11/16 11/27 12/11	55 名
6	起業実務編 (税務) 税務手続きと経理の基本 (後期) (オンライン開催)	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 椎木 秀行	1/29	71 名
7	起業実務編 (法務) 開業手続きと契約書の基本 (後期)	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 高橋 克明	2/10	9 名
8	女性起業家編 起業のタネを育てよう 女性のための起業講座	Office さく 代表 飯田 良子 氏 (中小企業診断士)	3/5 3/10 3/12 3/19	52 名

ウ) 起業・創業なんでも相談 DAY・開業ワンストップ講座 (起業ワンストップ相談事業)

起業希望者や起業後間もない方を対象に、政府系金融機関等が所属する創業支援ネットワークと協力し、多種多様な起業課題について 1 日で相談できる合同相談会 (起業・創業なんでも相談 DAY) を開催するとともに、ビジネス開発ディレクター等、各分野の専門家を活用したオンラインによる開業ワンストップ講座を併催した。

<開催実績：9 回開催 延べ 288 名利用>

	開催テーマ	講師	開催日	延べ参加者数
1	起業・創業なんでも相談 DAY①	—	7/15	18

	開催テーマ	講師	開催日	延べ参加者数
2	起業・創業なんでも相談 DAY② ワンストップ起業講座① with コロナ時代のビジネスアイデアの出し方 理論編	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 渡辺 進也	8/19	22
3	起業・創業なんでも相談 DAY③ ワンストップ起業講座② with コロナ時代のビジネスアイデアの出し方 実践編	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 渡辺 進也	9/16	28
4	起業・創業なんでも相談 DAY④ ワンストップ起業講座③ 事業の魅力を伝える販促ツールの作り方	GREEN 代表 アートディレクター グラフィックデザイナー 草野 裕樹	10/21	35
5	起業・創業なんでも相談 DAY⑤ ワンストップ起業講座④ 創業資金の考え方融資担当者が聴きたいポイントとは?	日本政策金融公庫仙台支店職員 (創業支援ネットワーク)	11/18	40
6	起業・創業なんでも相談 DAY⑥ ワンストップ起業講座⑤ SNS を活用した販促術	(公財) 仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 三浦 哲志	12/16	37
7	起業・創業なんでも相談 DAY⑦ ワンストップ起業講座⑥ 自社ホームページ作成のポイント	リングファクトリー有限公司 代表取締役 IT コンサルタント 岩崎 正人	1/20	42
8	起業・創業なんでも相談 DAY⑧ ワンストップ起業講座⑦ アクセス解析の仕方	リングファクトリー有限公司 代表取締役 IT コンサルタント 岩崎 正人	2/17	43
9	起業・創業なんでも相談 DAY⑨	—	3/17	23

⑦ 御用聞き型企業訪問事業

地域企業が独力では解決が困難な経営課題に対応するため、大学の教員等が仙台地域のものづくり中小企業を訪問して課題を発掘し、専門分野の知見に基づくアドバイスを行うことにより、既存商品や工程の改善、新商品の開発等を支援する「御用聞き型企業訪問」を行った。なお、産学連携セミナー「寺子屋せんだい」については、新型コロナの感染拡大への懸念から開催を中止した。

ア) 御用聞き型企業訪問

ビジネス開発ディレクターや職員等が訪問先企業のコーディネートを行い、地域連携フェローとともに御用聞き型企業訪問を行った。訪問先企業に対しては地域連携フェローの専門的知見に基づく技術的なアドバイスや新商品開発のヒントとなるアイデア提供等を行った。

○堀切川 一男 地域連携フェロー

東北大学大学院工学研究科 ファインメカニクス専攻 教授 (工学博士)

専門分野：トライボロジー (摩擦、摩耗、潤滑などに関する総合科学技術分野)

○熊谷 正朗 地域連携フェロー

東北学院大学工学部 機械知能工学科 教授 博士 (工学)

専門分野：メカトロニクス、ロボット工学

○坂手 勇次 地域連携フェロー

東北工業大学 ライフデザイン学部 クリエイティブデザイン学科 教授

専門分野：デザインマーケティング

○毛利 哲 地域連携フェロー

宮城大学食産業学群フードビジネス学類 准教授 (農学博士)

専門分野：食品科学、食品分析学、食品加工・保蔵学

○荘司 弘樹 地域連携フェロー

東北大学電気通信研究所 特任教授 博士 (工学)

電気・通信・電子・情報

<訪問実績：御用聞き型企業訪問件数 18件>

イ) 産学官連携に関するセミナー

地域企業の関心が高いテーマや分野に関する最新動向などを大学教員等が分かりやすく情報提供を行う「寺子屋せんだい」を定期的を開催することで、新規事業展開や既存技術の改良を支援するとともに、大学と企業技術者の仙台圏域における人的ネットワークの構築を支援した。

○「寺子屋せんだい」の開催（開催中止）

ウ) 産学連携専門家派遣

地域企業の個別の技術的課題解決に向け、大学の教員等を派遣して、共同研究の促進や技術指導を行った。

<派遣実績：1社2回>

専門家	支援内容	派遣回数
東北学院大学工学部機械知能工学科 教授 鈴木 利夫 氏 (仙台市地域連携アドバイザー)	保冷バックにおける熱伝導（熱伝導率、素材等）、従来品との性能比較等についてのアドバイス	2回

エ) 産学官交流大会等（開催中止）

⑧ 東北地域ものづくり企業連携事業

独自製品や技術・サービス、製品等を保有し、広域での事業展開に意欲的な東北の企業を対象に、東北域内及び首都圏等をはじめとした他地域の企業とのマッチングを支援する。県域を越えた中小企業のものづくり製造技術の相互補完を促進し、新製品開発や新事業創出などを支援する。

本件は、令和2年度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により、国内外での感染者が拡大していることから、仙台市においても感染流行防止へ、より一層の感染拡大防止策を講じる必要があると判断し、各県関係機関と共有のうえで延期事業としている。

<商談実施状況（※R2 過年度継続分を記載）>

	R2 ※
連携都市数	16
出展展示会数	0
支援延企業数	8
商談件数	10

⑨ 中小企業応援窓口事業

新型コロナウイルス感染症により特に大きな影響を受けている中小企業、小規模事業者等の経営等に関する課題に対応し、地域経済の安定に資する事を目的に仙台市中小企業応援窓口を開設した。持続化補助金、雇用調整助成金及び国や県等の各種補助金の申請手続きや中小企業、小規模事業者等が抱える課題にワンストップで対応した。

窓口相談件数 2,420 件

<相談実績>

相談 件数	内 訳							
	補助金・ 助成金申請	テレワ ーク導 入支援	事業 計画	販路 開拓	商品 開発	資金 繰り	IT化 (テレ ワーク 以外)	その他
2,420	1,641	12	51	249	145	90	82	150

(2) 雇用支援事業

(14,754,860 円)

【事業者向け支援】

① 人材獲得・定着セミナー&採用コンサルティング

地域中小企業の多様な人材採用・定着を支援するため、採用セミナーによるノウハウ提供や、企業個別の課題抽出と解決に向けた採用コンサルティングを実施した。

<開催実績>

・採用セミナー

	テーマ	講師	開催日・配信開始	参加者・視聴者数
1	宮城ケンミン 100 人にききました 兼業・副業～働く人のリアル～	STUDIO TOK 代表 今野 奈津子 氏 他 3 名	12/11	58 名
2	無料採用 HP 作成 ポイント丸わかり セミナー	株式会社リクルートジョブズ グループマネージャー 高橋 晋 氏 他 1 名	1/27	32 名
3	今どき学生と SDGs ～人が集まり育 つ企業になるヒントが見えてきた～	ヒトベース株式会社 代表取締役 渡辺 徹 氏	1/29	116 名

・採用コンサルティング

実施回数	利用企業数	採用人数
38 回	25 社	44 名

② 働き方改革促進ビジネス開発委託事業

働き方改革をテーマにした新規ソリューションビジネスを公募し、採択された 3 案件について、ビジネス開発を支援した。

<委託事業一覧>

団体名	委託内容	委託料
SDGs ビジネス研究所	地場の障がい当事者の力を活かしバリア（障害）をバリュー（価値）に変え、社会に変革を起こす働き方改革	1,300,000 円
株式会社ナナイロ	地元 IT 企業のネットワークを活かしたプログラマ養成スクール+職業紹介	1,300,000 円
株式会社 funky jump	コワーキングスペース向け音声認識型顧客管理システム TAISY	1,300,000 円

③ グローバルUIJ 促進事業

将来の経営者候補、事業拡大・海外展開のリーダーとなりうる海外の高度人材を在仙企業とマッチングすることにより企業の人材確保、経営基盤強化を促進した。今年度は台湾のオンライン合同企業説明会に出展した他、台湾の大学とのオンライン交流会を開催した。

<開催実績>

催事名	参加者数
2020 日系企業合同就職説明会 JOB 博 ONLINE in 台湾	約 100 名
東海大学オンライン仙台就業説明会	50 名
義守大学オンライン仙台就業説明会	60 名
台北芸術大学オンライン仙台企業交流会	14 名
文藻外国語大学オンライン仙台就業説明会	5 名

【求職者向け支援】

① キャリア・コンサルティング

学生・求職者・在職者を対象に、就職や転職、将来のキャリア等について、個々に応じた助言を行うため、個別相談を開催した。

<開催実績>

開催回数	参加者数
51 回	261 名

② 無料職業紹介

厚生労働省から許可を受け無料職業紹介事業を実施した。求人・求職を紹介するだけでなく、学生・求職者を対象に、事業所見学のコーディネートや応募書類の添削、面接対策等を行った。また、県内事業所を対象に、求人票の添削、就職活動ポータルサイト「ジョブ・スタせんだい」による企業情報の発信等を行った。

<紹介実績>

項目	実績
求人登録数	350 件 (67 社) ※1
求職登録数	283 名
就職件数	6 件
(参考) 間接的採用	113 件 ※2

※1 同一事業所でも求人時期や職種、対象年齢等が複数の求人は別件として扱っている。

※2 事業団の雇用支援サービスを利用した求職者が、事業団の職業紹介以外で就職に至った件数

③ オンライン就活用スペース貸し出し

新型コロナウイルス感染症の影響等により企業が採用活動を急速にオンラインにシフトしたことを踏まえ、新卒学生等が就職活動中にウェブによる面談を行うための会場として、中小企業活性化センターを無償で貸し出した。

<貸し出し実績>

利用者数
261名

【外国人留学生就職支援事業】

東北イノベーション人材育成コンソーシアムの委託を受けて、東北の大学に通う外国人留学生向けに、交流会、シンポジウム、合同企業説明会を開催した他、地域企業を紹介する動画を作成した。

催事名	参加者数
留学生のための宮城の企業オンライン見学会	12名
外国人留学生向けジョブフェア	約100名
高度外国人材定着支援シンポジウム「外国人材の地域への定着と課題」	約30名
留学生のための宮城の企業オンライン見学会	11名

(3) 仙台フィンランド健康福祉センター事業

(42,005,745 円)

令和元年 11 月にビジネスフィンランド（フィンランドの関係機関）およびオウル市とそれぞれ基本合意書を更新し、2020 年より 5 年間にわたり両国の産業支援協力を継続することで合意した。

この合意に基づき、引き続き、健康福祉産業クラスターの創出・国際化を推進するため、地元企業による新製品・サービス開発および販路開拓ならびにフィンランド企業との提携支援を行った。

① 国際展開支援事業

地元企業とフィンランド企業間のマッチングコーディネート、健康福祉分野の研究開発支援等を実施した。

<実績>

ア) 来訪フィンランド企業・団体数 今年度実績なし

イ) 地元企業とフィンランド企業のビジネスマッチング

No.	企業名	支援内容
1	八光建設株式会社 (仙台市青葉区)	フィンランドから輸入販売中の立上がり補助椅子 (Armi Active Chair) について海外 (香港) の高齢者施設からの引き合いに関するコミュニケーション支援
2	株式会社仙台放送 (仙台市青葉区)	フィンランド企業 (MaaS Global 社) と MaaS 分野における連携に向けたマッチング支援
3	株式会社グッドツリー (仙台市泉区)	介護 AI サービスを提供するフィンランド企業 (Gillie. AI 社) と介護システムの連携に向けたマッチング支援
4	IKI Health Group (フィンランド企業)	介護施設向け映像配信ビジネスにおける日本での事業可能性調査および展開支援
5	Code School Finland (フィンランド企業)	子供・学生向けプログラミング教育支援事業における日本でのパートナー企業発掘支援

ウ) その他

- ・『フィンランド人はなぜ午後 4 時に仕事が終わるのか』の著者であるフィンランド大使館 堀内氏を講師に招き、フィンランドの柔軟な働き方やライフスタイルに関するオンラインセミナーを開催。<当日参加者数：49 名>
- ・経済産業省が設置する「Healthcare Innovation Hub」（ヘルスケアやライフサイエンスに関わるベンチャー企業等の相談窓口）におけるサポーター団体として、経済産業省主催ジャパンヘルスケアビジネスコンテスト等にオンラインにて参加。

② オウル産業振興協定推進

- ・オウル企業に対して、地元企業紹介及びマッチング等を実施するとともに、両地域の企業情報交換等を行った。
- ・ビジネスオウルより紹介のあったフィンランドの IKI 社及び Code School Finland 社の日本市場展開に向けた支援を行った。

③ Wellbeing 製品・サービス開発支援事業

ア) ニーズリサーチ

主に地元事業者を対象に、介護・健康福祉分野におけるソリューションビジネスの開発を支援するため、介護現場の ICT 化に関するセミナーを開催した。また、介護現場のニーズ及びマーケティング調査支援を目的として委託事業を実施した。

<セミナー開催実績>

テーマ	講師	開催日	参加者数
介護事業所向け ICT ソリューション開発のためのヒント (オンライン開催)	合同会社かいご支援サービス 代表 次田 芳尚 氏	2/10	45 名

<ニーズリサーチ委託実績>

団体名	調査委託テーマ	委託料
株式会社トレック	デイサービス向け送迎支援システム 『うえるなび』	300,000 円
株式会社エヌエスシー	PDF を用いたタブレットによる記録の 効率化サービス	300,000 円
ライフラボラトリ株式会社	施設入退管理システム	300,000 円

イ) 公募型開発委託事業

企業等が仙台フィンランド健康福祉センターの機能を活用して行う、健康福祉分野でのサービス・機器の開発等の事業を公募し、委託により実施することにより、当該プロジェクトの推進を図った。また、介護現場が抱える課題に対して自社シーズによる提案型の開発を行う「テーマ事業」についてこれまでの CareTech 事業から得られた知見を踏まえてテーマ設定を行い、募集を行った。

<実績：委託 4 件(うちテーマ 3 件)／応募総数 9 件(うちテーマ 7 件)>

団体名	委託内容	委託料
株式会社リアルデザイン	スマートフォンを用いた一次救命用 CPR の訓練システム	2,000,000 円

株式会社グッドツリー	「介護業務支援ソフト」ケア樹 記録-請求連携エンジン	2,000,000 円
アルプシステムインテグレーション株式会社	介護施設向け 立ち上がり検知システム	2,000,000 円
株式会社エムズ	エムズサーバ (仮)	2,000,000 円

ウ) 実証サポート

介護事業者の協力のもと、仙台市内の IT 事業者が開発した健康福祉ソフトの実証実験を施した。

<実績>

企業名	補助事業名	協力企業 (施設名)
エクストゥー合同会社	スマイルサーバ	<ul style="list-style-type: none"> ・(社福) 東北福祉会 (特別養護老人ホームリベラ荘、せんだんの杜ものう) ・(社福) 杜の村 (介護老人福祉施設みさとの杜翔裕園)

エ) IT 導入定着支援

CareTech の一貫として、業務改善や人材不足解消等に向けて IT 導入・定着の必要性を認識している介護事業者を対象に、問題意識の向上および課題明確化を図るためのセミナーを実施した。

また、IT 関連事業者を対象に介護事業者への IT 導入・定着支援を委託することにより、介護現場の業務効率化及び当該サービス事業者の育成と活性化を図る目的で委託事業を実施した。

<セミナー開催実績>

セミナー	講師	開催日	参加者数
介護福祉事業者・関連企業向け 無料 オンライン ICT 導入支援セミナー ※連続セミナーを 2 回、計 4 回実施	株式会社ビーブリッド 代表取締役 竹下 康平 氏	9/2	21 名
		9/25	14 名
		11/5	21 名
		11/19	8 名

<IT 導入・定着支援委託実績>

団体名	協力先 (施設名)	委託料
エスクリブ株式会社	株式会社フルパワー よろず訪問介護 日々全力	150,000 円

④ 研究会開催、展示会出展

地元企業や市民に対する当プロジェクトへの理解促進と、国内外への当プロジェクトの周知、開発製品・サービスの広報・販路開拓を図るため、プロジェクトや施設概要、フィンランド型の福祉、開発製品・サービスなどに関する講演や展示を行った。

ア) Wellbeing 研究会・ビジネスセミナー

福祉分野の新しい技術、製品、サービスや今後の福祉の在り方や輸出入等の海外展開ノウハウを学ぶとともに、プロジェクト参画企業・団体開拓を目的に開催。

<実施状況>

	テーマ	講師	開催日	参加者数
1	With コロナ時代に突入、ICT の活用で介護事業サービスは変わる！ ～介護の現場が抱える課題を解決する ICT 活用のヒント～	ICC リサーチ・アンド・アドバ イザリー株式会社 代表取締役 渡辺 尚浩 氏	8/19	36 名
2	『フィンランド人はなぜ午後 4 時に仕事が終わるのか』の著者に学ぶ、 フィンランドの柔軟な働き方とライフスタイル	フィンランド大使館 堀内 都喜子 氏	11/26	49 名 (当日参加者)

イ) 全国規模展示会への出展

国際福祉機器展 H.C.R. 2020 の中止に伴う代替イベントとして開催された「福祉機器 Web2020」に、支援企業 8 社出展。

- ・「福祉機器 Web2020」出展（オンライン展示会）

期間：令和 2 年 10 月 21 日～令和 2 年 12 月末（令和 3 年 3 月末までアーカイブ公開）

<共同出展企業および出展製品>

	企業名	製品
1	エクスツー合同会社	スマイルサーブ
2	株式会社クララケア・サポート	左右開閉式パッドホルダーパンツ「LaSiQu（ラシク）」
3	株式会社スペースケア	らっぷあっぷ プレミアム
4	株式会社仙台放送	高齢者施設向け いきいき脳体操テレビ&ゲーム配信場
5	匠ソリューションズ株式会社	非接触掌紋認証システム「HAND PASSPORT」
6	テクノ・マインド株式会社	シフト管理サービス「咲く Saku」
7	株式会社トレック	送迎支援システム「うえるなび」
8	八光建設株式会社	アーミアクティブチェア

⑤ 事業創成国際館運営状況

<プロジェクトルーム入居企業等>

	団体・事業者名	入居目的
1	NP0日本ノルディックフィットネス協会 (H22. 4. 1～入居中)	公益事業振興補助事業・東日本大震災復興支援事業「ノルディックウォーキングで心も体も健康になろう！」に関する活動展開
2	株式会社エムズ (H29. 3. 10～入居中)	・グループホーム×認知症の方による畑作業（自然栽培）の相乗効果 ・高齢者施設におけるIT管理・ポイントシステムの導入
3	Green-Room株式会社 (H29. 7. 1～入居中)	・視覚障害の方のグループホームと就労継続支援A型施設の開設 ・訪問医療マッサージ・整骨院の事業展開
4	SDGsビジネス研究所 (R1. 7. 1～入居中)	SDGsの健康と福祉分野におけるビジネス創出のコンサルティング事業
5	株式会社ジェー・シー・アイ (R2. 11. 11～入居中)	高齢者介護の在宅化に伴う介護者負担軽減商品の開発
6	八光建設株式会社 (H26. 9. 8～R2. 9. 7退去)	フィンランド商材を使用する住環境の提案と健康福祉対応施設へ商材の販売活動

<コ・デザインスペース有料展示企業等>

	団体・事業者名	展示内容
1	株式会社JEI	引戸用採風電気錠ケアロック15
2	ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社	非装着型コミュニケーション支援システム comuoon (コミュニケーション)

<視察等来館者実績：267名（今年度は海外から来館者はなし）>

(4) グローバル人材育成支援事業 (16,940円)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、今年度の新規奨学生の募集は行わず、すでに留学を終えた奨学生を対象に奨学金の管理を行った。

(5) 施設管理運営事業 (231,549,961円)

中小企業や個人事業主に有用な施設として利用していただくことを目的として、仙台市中小企業活性化センターの適切かつ円滑な管理運営を実施するため、各種設備に関する修繕・保守点検、定期的な清掃・保安警備、施設貸出に関する管理・報告・届出等を行った。

今年度においては、計画的な施設の修繕（多目的ホールの調光・照明設備等の更新工事を令和2年8月から令和2年12月まで実施）を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドラインに沿った安心安全な施設の管理運営に努めた。また、昨年度に引き続き、仙台市の青葉区役所及び教育局と連携した防火・防災体制を構築し、避難訓練を実施した。

ア) 支出の主な内訳

内 容	支出金額
共益費	49,859,473円
光熱水費	25,139,791円
多目的ホール設備操作等委託	15,736,050円
清掃業務委託費	15,083,577円
警備業務委託費	9,145,400円
修繕費	73,932,100円
その他事業費	42,653,570円
合計	231,549,961円

イ) 施設の利用状況

会場名	利用可能 日数	利用日数	R2 利用率 (%)	H31 利用率 (%)
多目的ホール	41	25	61.0	81.6
楽屋(1)	41	13	31.7	52.7
楽屋(2)	41	13	31.7	50.7
厨房	41	5	12.2	12.6
セミナールーム(1)A	274	216	78.8	87.2
セミナールーム(1)B	273	212	77.7	91.2
セミナールーム(2)A	273	215	78.8	87.8
セミナールーム(2)B	272	205	75.4	84.2
特別会議室	275	184	66.9	90.3
主催者・来賓控室	274	199	72.6	92.5

利用率＝利用日数÷利用可能日数

※令和2年6月から令和3年3月までの集計値

令和2年4月1日から5月31日までは、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う仙台市の事業及び施設等の取り扱いに係るガイドラインに従い、実質的に利用休止となったため集計から除く

※多目的ホールは、令和2年6月、7月、令和3年1月、2月の集計値

令和2年8月から12月まで設備更新工事を実施。また、令和3年2月13日に発生した地震による設備損壊に伴い、令和3年2月14日から令和3年3月31日まで利用休止。